



ゆくさ、おさいじゃした！ 桜島



第1号
2015年6月12日
【発行】
実行委員会事務局

【スローガン】国民と広く連帯し、患者・地域住民と医療・福祉労働者の人権・生命の尊厳を守ろう

1日目 6/12 金 宝山ホール (鹿児島県文化センター)

記念講演



伊藤周平先生
鹿児島大学法科大学教授

社会保障改革の新段階と 対抗運動の展望

～医療・介護・社会保障の充実を～

社会保障推進改革法・プログラム法にそって強引に進められる社会保障改悪。国の責任放棄と国民負担増や給付削減の押しつけが矢継ぎ早に進められています。現段階の状況と悪政に対峙して闘う運動の展望について深めます。

特別報告



青山浩一先生
医療法人孝星会 ますみクリニック
鹿児島県保険医協会理事

いま、子どもたちのいのちをみつめる...

～東京電力福島第一原発事故の現状と健康障がい～

♪♪ お願い ♪♪

みんなでつくる「桜島」の取材、インタビューにご協力をお願いします。

医療研ニュース「桜島」は皆さんが職場に帰って「医療研」の報告をする際の記録として、参加者の感想やトピックスを紹介しします。取材には気楽にご協力をお願いします。

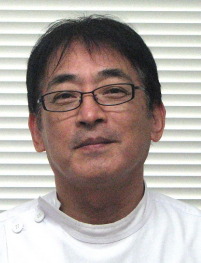


現地歓迎 メッセージ



鹿児島 くさくさ！

鹿児島実行委員会 現地実行委員長
馬場文治 (鹿児島県医労連執行委員長)



鹿児島には雄大な桜島を
島においでいただき誠に
ありがとうございます。
鹿児島には雄大な桜島を
島においでいただき誠に
ありがとうございます。
鹿児島には雄大な桜島を
島においでいただき誠に
ありがとうございます。

私たちには国民の命や健康、くらしや安全を守る使命があります。しかし今、政府が進める「戦争ができる国づくり」はこの使命と真つ向から対立します。川内原発再稼働でも再び原発の安全神話を振りまこうとしています。安心して自分らしい生活を実現できるよう共同を拓げて理不尽な政策への反対運動を展開することが大切です。2日間大いに学び、議論し有意義な時間にしていただければと思います。

【題字写真】桜島

錦江湾に浮かぶ桜島は鹿児島のシンボル。高さ1,117mの複合火山です。約26,000年前に誕生し、以前はその名の通り「島」でしたが、1914年の大正噴火で海峡が埋め立てられ、大隅半島の一部となりました。現在も噴火を繰り返し、2011年には観測史上最多を記録しました。





歓迎文化行事



麦の芽福社会 「むぎのめジャンベ隊」



麦の芽福社会の「むぎのめジャンベ隊」。利用者さんの余暇支援から始まり、7年目を迎えました。舞台にでる機会も増えて、今や「むぎのめ」の広報部。そのジャンベ隊が、医療研のオープニングを飾ります。お楽しみください♪

【ジャンベ】西アフリカ一帯で伝統的に演奏されている太鼓。低音から高音まで発音でき、ロックやジャズなどでも用いられるようになってます。

◆◆鹿児島まめ知識◆◆

『がね』（さつま芋入りかき揚げ）

鹿児島の郷土料理の代表格。揚げた姿が「かに（鹿児島弁でがね）」に似ていることからこのように呼ばれている。正月料理に加えられるとともに、焼酎の肴やお茶請け、子どものおやつとしても親しまれている。



『さつま汁』

手早く野戦料理風にゴツタ煮にされたのが「さつま汁」。土風を高める闘鶏が兵児（へこ）の間に盛んに行われ、闘鶏で負けた鶏はさつま汁にされていたという。



『つけあげ』（さつまあげ）

「つけあげ」は、琉球料理「チキアーギ」が元祖という説や、島津公が“紀州はんぺん”や“かまぼこ”にヒントを得て、保存性の高い揚げ物料理を考案させたとかという説がある。アジやイワシなど恵まれた海の幸を無駄にしまいとす、生活の知恵が生み出した産物であると言える。



全体懇 司会者紹介 よろしくお願ひします



【写真左】
右田明日香さん
鹿児島医療生協労働組合



【写真右】
川上真理さん
奄美医療生協労働組合

【お知らせ】大学の学食が利用できます♪

医療研2日目(6/13)

鹿児島大学（郡元キャンパス）の食堂が営業します。時間帯によっては混雑する可能性もありますが、ご利用下さい。

